

## 業務改革に名を借りた人員削減！

**これで安全・安定は保てるのか！**

**サービス・品質低下で鉄道の未来はあるのか！**

1月18日、会社は「お客様サポートサービス(旧集中旅客サービスシステム)」を東海道線名古屋西方面と中央本線に導入することを明らかにしました。平成25年の武豊線への同システム導入以降数多くの駅のシステム化がされました。それ以前に行われた駅の完全無人化と合わせると武豊線、飯田線、関西・紀勢線・参宮線、高山線、東海道名古屋以東では、多くの駅で駅員がいなくなりました。

そして今回、東海道線名古屋駅以西の枇杷島、清洲、稲沢、木曾川、西岐阜、穂積、垂井、関ヶ原、近江長岡と中央本線勝川駅にサポートサービス駅が拡大されました。これによるJR東海社員の要員削減は、△12名です。東海交通事業で削減された人員を合わせるとかなり多くの要員が削減されると思います。

これまで、私たちは集中旅客サービスシステムは駅の無人化であると主張してきました。現地調査も行い、各自治体に問題点の発信もしてきました。しかし会社は、声なき声を聞こうともせず問題点はないとして強引に施策を進めています。

**私たちはお客様サポートサービスは問題だらけであると訴えます！**

1. 高齢者などシステムに弱い人や鉄道をあまり利用しないお客様の鉄道離れが加速する可能性がある。
2. 身体に障害がある方がホームに出たときにカメラでは安全は確保できません。障害は車椅子のみではなく視覚、聴覚、ろうあと多岐にわたります。本当に対応できるのでしょうか。
3. 列車内で急病人が発生した場合、救急隊到着まで車掌が対応することになり大幅な遅れが発生する可能性があります。
4. 無人化されることにより夜間のセキュリティー悪化が懸念されます。

**私たちは、安全安定性低下・サービス低下・弱者への負担増の駅の無人化に反対します。**